

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月26日			
平成15年度	事業コード	11220	電話	042-761-9291
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	浜松園
事務事業名	自主事業費（浜松園）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第1章	安心して生活できる福祉社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢者の創造	63以前▼年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

老人福祉法 第15条による老人福祉センター設置運営要綱 相模原市立老人福祉センター条例
--

3 事務の区分

自治事務	▼
------	---

4 経費の区分

その他の経費	▼
--------	---

5 事務事業の分類

市単独事業	▼
-------	---

6 受益者負担

なし	▼
----	---

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
高齢者の教養の向上と健康の増進を図り、趣味やレクリエーション等のための事業を行い、また、そのために必要な便宜を提供する。		60歳以上の市内高齢者	
		対象数	111,556人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
押花講座	10回	20時間	112名
絵手紙講座	5回×2回	20時間	166名
カラオケ講座	10回	20時間	146名
花のアレンジ講座	5回	10時間	24名
気功法講座	10回	20時間	147名
健康管理講演会	3回	6時間	216名
無料健康相談	24回		119名
合計			930名
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	相模原市高齢者保健福祉計画	高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、施策等の展開を計画するもの。(第2期 平成15年～19年度)	
計画年次	12年度～16年度		

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
成果指標	応募人数に対する定員の比率	定員÷応募人数*100	応募人員に対する定員を表す					
		H12 1,144÷1,332						
		H13 968÷1,332		86	73	84	100	100
		H14 930÷1,102						
		H15 379÷379						
活動指標	受講者数、聴講者数及び相談者数の増減率	本年度受講者数÷前年度受講者数*100	総受講者数、聴講者数及び相談者数を表す					
		H11:1,175名		97	85	96	96	100
		H13:968名						
		H12:1,144名						
		H14:930						

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		1,617	1,661	1,601	413	1,076
業費	人員・時間数					
	人件費	478	478	420	144	420
	その他経費					
	合計	2,095	2,139	2,021	557	1,496
特定財源						
	対象数	1,144	968	930	379	1,000
	対象の単位あたり経費	1.8	2.2	2.2	1.5	1.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	利用者のニーズに答えられるような、講演会の内容や教養初歩講座の科目の見直しを行い、より多くの高齢者が参加できるような取り組みが必要である。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見、市が事業を行う必要がある 老人福祉センター(A型)施設において必要な事業である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		講座や講演会の受講がきっかけとなり、趣味を通じての活動や健康の増進に関心をもつことで、高齢者が生きがいのある健康で明るい生活が送れることにつながり、有効である。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	より多くの方が受講ができるよう配慮している。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	交通の便が悪いが、巡回バス(講座用ではないが)による送迎を行っている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 講座科目、回数の見直しを行い、より多くの高齢者が受講の機会を得られるようにする。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 老人福祉センター(A型)を運営する他市においても同様の事業を実施している。
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 老人福祉センター(A型)として必要な事業である。利用者が、仲間づくりや社会参加、健康で生きがいのある楽しい毎日をすごせるような講座、講演会、気軽に健康相談等ができる居場所づくりとする。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--